



ベトナム初の都市鉄道が開業

北陸銀行 国際部
ベトナムバンクトレーニー
中野 峻介

1. はじめに

2021年11月6日、ベトナムで初めての都市鉄道(メトロ)が首都ハノイ市で開業しましたので、同日に乗車してきました。今回はこのハノイ市都市鉄道『ハノイメトロ』についてご紹介します。

2. ハノイメトロの概要

今回ベトナムで初めて運行を開始した路線は『カットリン-ハドンメトロ』と呼ばれ、ベトナムのメトロ整備計画の中では『2A号線』と呼ばれています。

ハノイ市中心部のカットリン駅から市南西部郊外イエンギア駅の全長約13kmを結ぶ高架鉄道で、12駅を約23分で運行します。最高時速約80kmで走行し、4両編成の車両は最大960人の乗客を輸送できます。

運賃は片道8,000ドン(約40円)~15,000ドン(約75円)、1日券は30,000ドン(約150円)、1か月定期は200,000ドン(約1,000円)の設定となっています。



【2A号線の車両：筆者撮影】



【カットリン駅外観：筆者撮影】

カットリン駅の外観はガラス張りで、前には噴水のある広場があり、開業を祝う写真スポットやパネルが展示されています。今はまだ人出は多くなく、駅構内にはキオスクのような売店もありませんでしたが、今後施設は充実するものと期待されています。本路線の周辺には55のバス路線があり、ハノイ市は利便性を高めるため、駅周辺にバス停や駐車場を増設しました。

乗車時は、コンコースの窓口で無料チケット(開業から15日間のみ)をもらい、自動改札(タッチ式)へ並びます。自動改札に慣れていない方も多いようで、駅員が一人ひとり丁寧に教えていました。自動券売機やチャージ専用機も設置されていました。

今回配布された片道チケットには、ベトナムドンの紙幣にも採用されているハノイの象徴、文廟の奎文閣が描かれていました。なお、チケットは改札を出る際に回収されます。

電車は日本のものより一回り小さく、座席にクッションや戸棚はありません。小さな子供は靴を脱いで膝立ちしながら窓から外を楽しそうに眺めていました。

本路線は市中心部から南西へ伸びる区間ですが、今後ハノイ駅や観光地へとつながる路線が完成してくれば、地元住民だけでなく観光客の利用も増えていくものと思います。



【駅構内・車内の様子等：筆者撮影】

3. 着工から完成まで

当初、路線の投資総額は8兆7,690億ベトナムドン(約440億円)の予定でしたが、土地収用や安全確認などが遅々として進まず、2015年の商業運転開始予定が約10回にわたり延期されたことにより、投資総額は18兆20億ベトナムドン(約905億円)に増加しました。この投資額の約80%は中国の政府開発援助(ODA)から捻出されています。

ベトナムでは今回の路線以外にも、フランスが支援するハノイの別路線や日本が支援するホーチミンのメトロの建設が進んでいます。しかしながら今のところ全てのメトロプロジェクトは当初の計画から遅れが出ている状況です。

4. おわりに

メトロの開業により、通常バイクで1時間かかるところが4分の1の時間で移動することが可能になりました。バイクよりもコストが安く済むため、地元ニュースではメトロの利用者は増加していきたくも報じています。

ハノイ市内は、渋滞や大気汚染が深刻な社会問題となっており(2019年世界大気汚染ランキングワースト1位)、メトロの開通は経済的な成長だけではなく環境面の改善が期待されるとともに、市民のライフスタイルの変化を促すよい機会になるのではないかと感じます。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp